

製品名: CSRNP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09467**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CSRNP2
別名	CSRNP2; C12orf22; FAM130A1; TAIP12; Cysteine/serine-rich nuclear protein 2; CSRNP-2; Protein FAM130A1; TGF-beta-induced apoptosis protein 12; TAIP-12
遺伝子 ID	81566.0
SwissProt ID	Q9H175
免疫原	抗血清はヒト TAIP-12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

背景

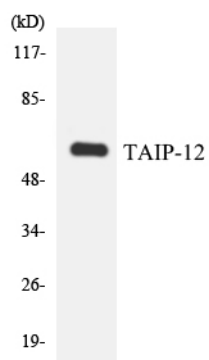
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、システインおよびセリンに富む領域、塩基性ドメイン、転写活性化ドメインなどの

保存領域を共有する核タンパク質ファミリーに属し、配列「AGAGTG」に結合することから、転写因子としての特徴を有する。マウスを用いた研究では、これらの遺伝子が重複した機能を有する可能性が示唆されている。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年8月]機能: コンセンサス配列 5'-AGAGTG-3'に結合し、転写活性化因子活性を有する (類似性による)。アポトーシスにおいて役割を果たす可能性がある。類似性: AXUD1 ファミリーに属する。

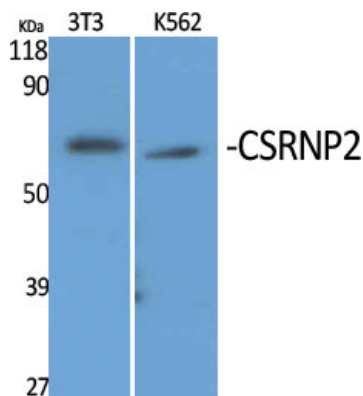
研究分野

-

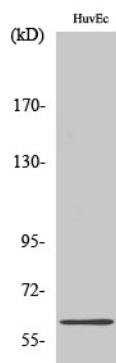
画像データ



TAIP-12 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



CSRNP2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



CSRNP2 ポリクローナル抗体を使用した A549 細胞のウエスタン ブロット分析。